

一般社団法人 Omoshiro

法人紹介資料



Omoshiroとは？

一般社団法人 Omoshiro は、すべての子どもの安心と希望の実現を目的とした、「面白（オモシロ）がる」人たちでつくる法人です。

ひと
”おごらず、他人と比べず、
面白がって、平気に生きればいい”

樹木希林（2018）『一切なりゆき 樹木希林のことば』文春新書

思い上がることなく、人を見下すことなく、謙虚に、自分軸で。

創造力、柔らかい頭と心で、多面的に人・物事・状況を客観視し、面白がってみること。

あらゆる人や物事・状況に対して、常に前向きに受け止め、可能性を信じ、可能性を広げる思考
「プロヴォケイティヴ・シンキング (provocative thinking) = 面白がるチカラ」を持つことが
現代社会を生き抜くうえで、大切なことなのではないでしょうか。

Omoshiro は、面白がるチカラを持って、面白がって平気に生きることが、
一人ひとりの個性や多様な在り方を相互に認め合い、支え合い、安心できる暮らしと生きがいにつながること、
そしてそんな大人たちの姿を届けることが、子どもたちの安心と希望につながると信じています。



ミッション

出会う×つながる → 想いをつなぐ

一人ひとりの個性・多様性を活かした豊かな社会参加の実現および
誰もが暮らしやすい共生社会の実現に寄与することをビジョンに

出会いたい人々と出会い、つながる。

人と人、想いをつなぐ。

面白いチカラをつける、自立して生活を送れる人々が増えていく未来に向けて
想いをつなげる・届けきることをミッションとして
人と人、人と場所、そして人と社会のつながりや変化を生み出していきます。

なぜ Omoshiro はうまれたのか？

私が出会った、とある少女の話。

部屋には荷物が床一面にあふれ、
彼女は毎朝そこからマスクや教科書を探して登校します。

母親はうつ症状がひどく、薬が合わず昼夜逆転。
彼女が登校する時にはまだ寝ています。

彼女は、私に話しました。「**自分の場所がほしい**」と…。

現在、**子どもの制度と生きづらさを抱える親の制度は異なります。**
そのため、窓口も担当者も別々になります。

それぞれの制度からのサポートのみでは、
彼女の求む場所を作ること、その場所を安心できる場所として
届けることはできていない。これが現実でした。

さらに、子どもの支援は16歳で終了します。

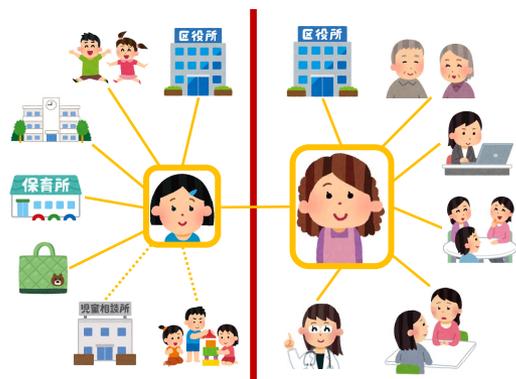
今、この親子に必要なこと。
それは、今、この社会に必要なこと。

Omoshiroでは、出会いをつなぎながら、
ヒトを、コトを、そして場所を届けきることを使命とし、誕生しました。

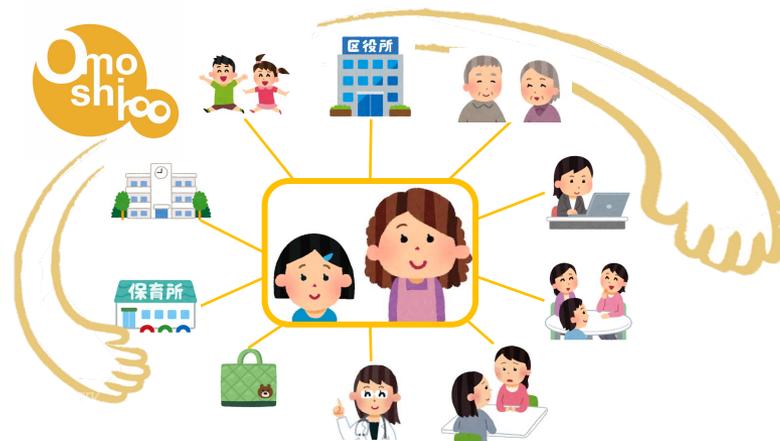


現状課題とあるべき姿

現状における支援の構図 (As-is)



理想とする支援の構図 (To-be)



問題点

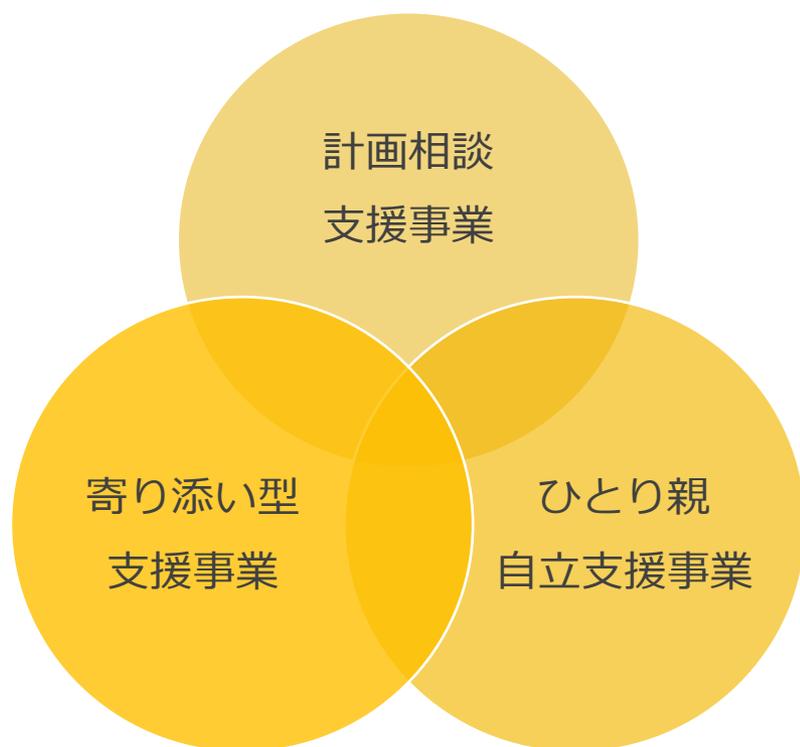
- 相談からサポート開始までが多面的であるため、困り感を抱えた母親が、何度も同じ話をせざるをえない状況があり、精神的・時間的な負担となることが、相談するという行為から離れてしまう
- 親子が置かれている現在の環境、これまでの背景、困り感の情報収集が継続的になされていないため、今、その時の親子に対する、本質的な問題解決につながっていない
- 親と子ども、それぞれへのアプローチと、それぞれに向けた対応計画となっているため、一緒に暮らす親子の願いや想いをすり合わせて共有する機会が少なく、立場や発言の強い親への対応に引張られる傾向がある

解決策

- 出会いからサポート開始までを、相談支援専門員によってワンストップで実施。親と子どもそれぞれの本来持っている力に着目し、引き出しながら、必要な制度・支援につなげることができる
- 継続的に親子それぞれへの情報収集を行いながら、サポート体制・方法の微調整を常に行うことで、困り感の解決を一緒に行うことが可能。親子が私たちのサポートを必要と感じ、大切にしたいと思える関係性を構築していく
- 親子それぞれが、自身の願い・想いに気づき、親子の間で「対話」ができる機会をサポートする。対話を通して生まれた願いに、私たちが全力で応援できる

事業概要

3つの支援事業を展開することによって、
窓口から支援までのワンストップ化を実現します



1. 計画相談支援事業

- PSWチーム結成
- 行政と連携したアウトリーチ
- 「届けきる」支援

2. 寄り添い型支援事業

- 生活・学習・進学支援
- 交流型イベントの企画・実施
- フリースクール機能

3. ひとり親自立支援事業

- 母子ハウスの提供
- 就労準備支援
- ピア・座談会の実施

1. 計画相談支援事業

自分の願いに気づく・自分の問題に気づくことができる支援



PSWチーム結成

出会えた子どもから得た
学びを活かして
役立つ情報・アイデアを
常に更新し続ける
計画相談チームを作ります。



行政と連携した アウトリーチ支援

今、支援が届いていない親子へ
「手をのばす」ことを大切に、
区と協働しながら
「支援の入り口」を作ります。



「届けきる」支援

制度の狭間にあっても
ヒト・コトの課題を整理し
コーディネートすることで、
今、アナタに必要な支援を
届けきります。

2. 寄り添い型支援事業

“人とつながる = 自分とつながる”を体現できる場所

“自分”という価値を提供できる場所



生活支援

食事の機会、生活週間の学び。

大人が子どものために作りたい居場所ではなく、子どもたちが大人と一緒に作りたい居場所であるよう、子どもの声に心を傾けます。



学習支援

学力ではなく、自学をマネジメントできるチカラを育みます。なりたい自分へのイメージに向けて、学ぶことで自分自身が近づける手応え、自己効力感を体現していきます。



交流型イベントの企画・運営

イベントを通じて、子どもたちと面白がる大人たちが出会い、わくわくする仕掛けを作ります。



進学支援

奨学金や企業基金など社会の資源を活用しながら、子どもの未来の選択肢を広げます。



フリースクール機能

小・中学校と連携・連帯しながら、学びの機会を守ります。

3. ひとり親自立支援事業

背負った連鎖を“つながり”という価値で断ち切ります



母子ハウスの提供

サポートの開始～本質的な自立まで、
ちょうどいいサポートで伴走します。



ピア座談会の実施

悩みや、困りごと、育児に関する情
報交換をする機会・場を一緒につく
ります。



就業準備支援

働き方のイメージ作りと体験の積み
重ねを大事にしながら、働くための
準備をお手伝いします。



企業・団体への働きかけ

奨学金や企業基金など社会の資源を
必要な親子に届ける橋渡しをします。



ボランティア機能の構築

法人ビジョンへのファンをつくり、私たちの考える地域問題を他者へ社会へつなげる
プロセスを大切にします。

メンバー紹介



勝呂 ちひろ

代表 代表理事
精神保健福祉士

横浜市出身

日本女子大学にて心理学専攻。
在学中に、学童でのアルバイト、横浜市ハートフルフレンド訪問事業、よこはま教育実績ボランティアに参画する。
2017年、精神保健福祉士として従事開始。

グループホーム管理者、サービス責任者、日中の居場所運営等に従事。

川崎市精神障害者地域生活推進連合会事務局を2年務める。

2018年より、計画相談支援専門員として従事。

2021年、一般社団法人 Omoshiro 立ち上げ。



青木 大三

理事

横須賀市出身

教育業界、アパレル業界を経て、福祉業界へ。

2015年、就労移行支援事業所の立ち上げから参画。

2016年より関東を中心とした「就労支援ネットワーク」を立ち上げ、福祉・医療・企業の連携を行う。

2017年、発達障害に特化した自立訓練での勤務を経て、現在は大学生のキャリア支援、グレーゾーンの支援を行う。



大西 紀子

理事

横浜市出身

国立音楽大学中退

2007年にワーキングホリデーで渡豪。

2年間ビジネス・マネジメントを学び、現地旅行会社にて8年勤務。主にカスタマーサービス、ランドオペレーターを経て、オペレーションマネージャーを務める。

2014年、豪永住権取得。

2017年に日本帰国後、外資系、国内ベンチャー、大手企業を渡り歩き、異業界の法人営業、旅行業界の中央省庁関連インバウンド向けプロジェクトにプロジェクト・マネージャーとして従事。



清水 那緒子

監事

司法書士

横浜市出身

2004年 法政大学法学部法律学科卒業・司法書士試験合格

2005年 司法書士佐藤純通事務所入所

2006年 司法書士登録（簡裁訴訟等代理業務認定取得）

2008年 事務所法人化に伴い司法書士法人横浜中央法務事務所 社員となる

（公社）成年後見センター・リーガルサポート会員

相続・遺言・離婚に伴う財産分与、成年後見等身近な法律問題に数多く携わっている。



秋山 怜史

一級建築士事務所 秋山立花 代表

NPO法人全国ひとり親居住支援機構代表理事

東洋大学非常勤講師

京都市ソーシャル・イノベーション研究所フェロー

長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センターアドバイザー・メンバー

1981年茨城県生まれ横浜市。

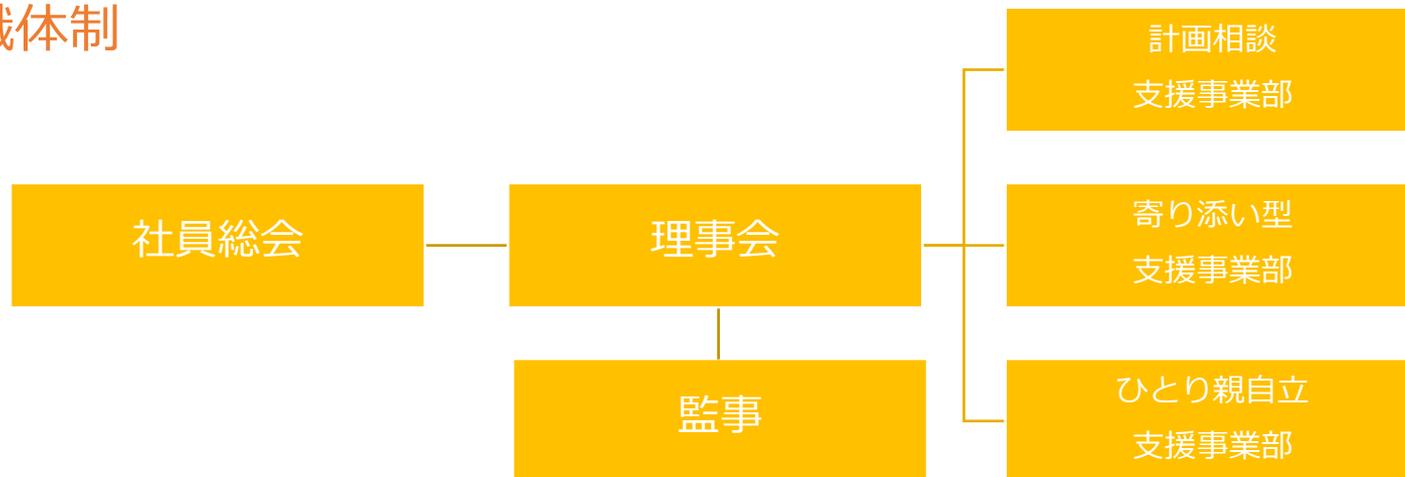
2008年より一級建築士事務所秋山立花設立

2012年、日本初の母子専用シェアハウスを企画

2015年、日本初の母子専用ポータルサイト「マザーポート」開設

組織体制および法人情報

組織体制



法人情報

法人名 一般社団法人 Omoshiro

事業内容 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業等

設立 2021年 2月 5日

所在地 神奈川県横浜市鶴見区本町通 1 丁目 2 番地 ブックストーリー・秋

代表理事 勝呂 ちひろ